

一般財団法人京都ユースホステル協会

2011 年度 事業計画書

期間：2011. 8. 1 - 2012. 3. 31



一般財団法人京都ユースホステル協会は
新しい旅と、旅する青少年の健全な成長を応援します。

〒616-8191 京都市右京区太秦中山町 29 宇多野 YH 内
TEL：075-462-2312 FAX：075-462-2289
<http://www.yh-kyoto.or.jp/> E-mail：kyh@yh-kyoto.or.jp

目 次

	頁
目 次	2
2011 年度事業概要	3
(1) はじめに	
(2) 方針と目標	
(3) 中長期的活動指針	4
(4) 予算概要	5
I . 事業運営	6
(1) ユースホステルを広く知ってもらふ事業展開	
(2) 新しい事業の基盤作りや環境整備	7
II . 指定管理事業	8
(1) 京都市宇多野ユースホステル	
(2) 天橋立ユースホステル	11
(3) 格致つどいの広場	12
III . 協会運営	13
(1) 総務部	
組織概要	14
体制について	
予算資料	15
2011 年度 予算書	



2011年度 法人概要

(1) はじめに

2011年一般財団法人京都ユースホステル協会事業計画は、旧財団に計画された当初の計画に基づき、推進してまいります。

引き続き、ご指導ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

2011年の国際ユースホステル連盟の事業方針は、Webを駆使したブランド力向上・品質向上、および、アジア太平洋地域のマーケット拡大を掲げています。

当協会もこれに呼応し、これまで続けてきた世界との連動をさらに意識し、新体制を固め、時代の風を取り込み、各種イベント・事業を推進し、国内のユースホステル再活性化の魁となれるよう取り組みます。

(2) 方針と目標

(一財)京都ユースホステル協会は、「旅」をコアコンセプトとする事業を展開し、青少年の健全な成長と、旅行者のにぎわいに寄与できるよう活動しています。しかしながら、海外各国と比較して、現在のわが国における「ユースホステル」の認知度は低いものであります。

今後、事業の強化発展を続け、「ユースホステル」が社会的役割を高めるためには、まず高い認知度が不可欠と考え目標とします。

実行体制の整備と運営の工夫をしつつ、業務の質・量ともの向上に意識して取り組むことで目標を達成します。

事業が強化発展すれば、財政基盤の安定にもつながるものと考えています。

目標：『ユースホステル』の認知度を高める。

数値目標：総合年間利用者数：

50,000人(対前年比10.3%UP)

—宇多野ユースホステル宿泊者数：36,000人

—天橋立ユースホステル宿泊者数：3,770人

—「旅」事業・イベント参加者数：10,000人

—ホームページアクセス数：

5,000アクセス/月(前年平均2,504/月)

—新聞記事掲載・放送回数等報道数：20件

実行指針：

- ① 世界(海外)と連動。
- ② 新しい「旅」関連事業を開発し催行。
- ③ 実行体制(外部含む)の整備。

(3) 中長期的活動指針

ユースホステルの世界的な取り組みや国際的なネットワークを活かしながら、ユースホステルが立地する地域の自然や景観、歴史や文化、食や産業、人材等の資源と旅行者、来訪者をつなぐ魅力的な滞在や体験プログラム等を創造し、地域との相互交流を促進する中で、相互の距離を縮め、滞在の魅力を高める取り組みを進めます。

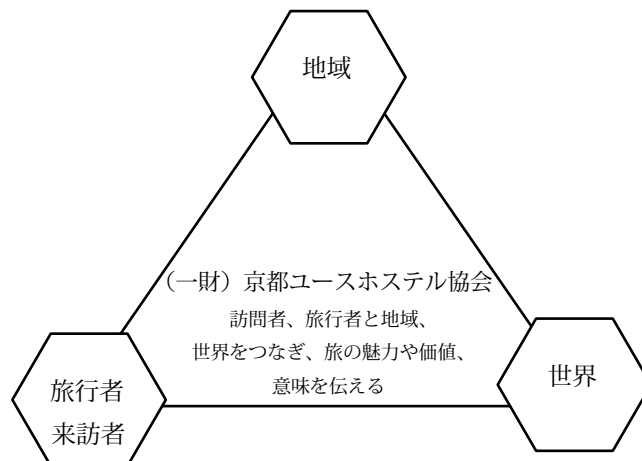
また地域と旅行者、来訪者との相互交流を促進する中で、相互の距離を縮め、滞在の魅力を高めます。

国際的なシステムを活用した施設運営の質の向上に取組み、国内外からの利用に応えた運営と経営が両立する新しいユースホステルモデルを確立し、今後のユースホステル活動の発展や当協会が独自に運営するユースホステル整備を目指していきます。

1. 多様なパートナーと連携し、ユースホステルが持つ教育的な環境を活用した事業や取組み等を充実させます。
2. 国際的なネットワークとの連携を強化し、また、品質管理マネジメントシステム（HI-Q）やグループ予約、WEBによる情報共有システム（HIハイウェイ）等の新しい国際システムを活用し、運営の質の向上や利用の促進、情報発信の充実を図ります。
3. 世界や時代の変化、ニーズを見据えながら、地域での特色、魅力の発掘や体験事業のモデルづくり、参加への仕組みづくり等を行い、地域との持続的な発展モデルを確立します。

ユースホステルの取組みや事業の役割、位置づけ

歴史や文化、景観、自然、食、生活、
人や産業等の地域の資源や魅力

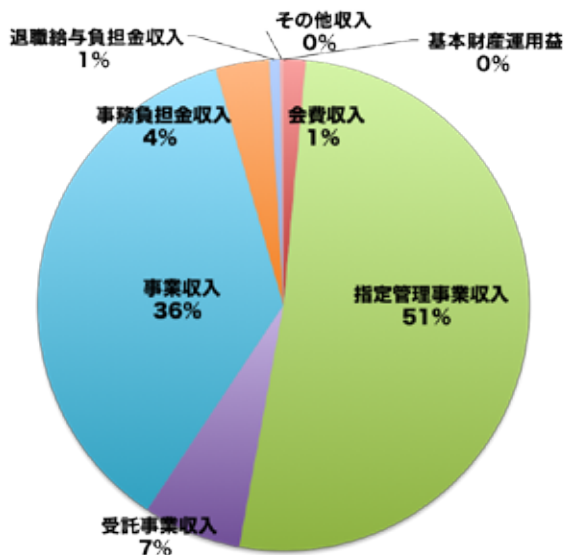


(4) 予算概要

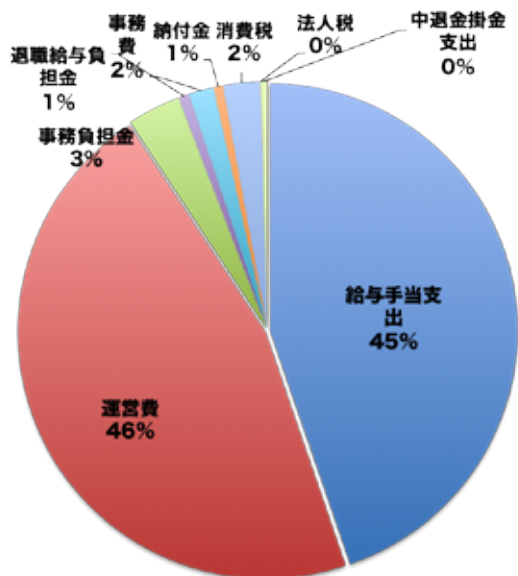
【予算執行状況】

	09年度実績	10年度実績	11年度当初予算	11年度旧法人実績	11年度新法人予算
事業活動収入	203,096,000	192,220,610	208,143,000	61,486,000	139,433,000
事業活動支出	186,889,000	187,191,000	204,992,000	58,390,000	141,306,000
事業活動収支	16,208,000	5,030,000	3,151,000	3,095,000	▲1,873,000
経常外支出	6,870,000	0	0	0	0
当期収支差額	9,338,000	5,030,000	3,151,000	3,095,000	▲1,873,000
前期正味財産繰越額	51,598,000	60,936,000	65,966,000	65,966,000	69,061,000
次期正味財産繰越額	60,936,010	65,966,000	69,117,000	69,061,000	67,188,000

【2011年度 事業活動収入内訳】



【2011年度 事業活動支出内訳】



法人移行に伴い、8月-3月期を新法人における第1期の決算期とします。

なお今期については年度途中であるため、旧財団最終期に作成した予算を表記し作成しています。

1. 事業活動収入について

新法人の事業活動収入は、139,433千円とし、11年度通年で200,919千円を目指します。これは年度当初予算に比べ7,224千円の減少です。

a. 主な減少の要因は以下の通り

- 1) 宿泊者の減少による宇多野ユースホステル・天橋立ユースホステルの食堂・物品販売収入の減少。

2. 事業活動支出について

新法人の事業活動支出は、141,306千円とし、11年度通年で199,696千円を目指します。これは年度当初予算に比べ5,296千円の減少です。

a. 主な増加要因は以下の通り

- 1) 宿泊者の減少による宇多野ユースホステル・天橋立ユースホステルの食堂・物品事業の縮小に伴う減少。

3. 事業活動収支について

新法人の事業活動収支は、▲1,873千円とし、11年度通年で1,222千円を目指します。これは年度当初予算に比べ約1,929千円の減少です。

II 事業運営

ユースホステルの独自性である「旅が人を育てる」活動を通して、青少年の育成に寄与すると共に広く社会での認知度を上げる取組みを行います。

【目標】

- 「旅」事業・イベント総参加者数：10,000名
- 外部団体と連携したイベント実施回数：500回
- 事業・イベントによる天橋立ユースホステルへ誘致による宿泊数：延300泊

(1) ユースホステルを広く知ってもらう事業展開 【目標 9,400名】

1. 青少年育成事業の実施

事業・イベント名	内容・目的	運営主体・協力者	備考
a. 旅カフェ・プロジェクト	若者の思いやチャレンジしたい企画の実現をコーディネートし、人が集う空間づくりを実施	イベント毎に日替わりマスター 企画スタッフ	継続
b. 旅プランニングワークショップ	旅を通して、コミュニケーション能力等の向上を図る研修プログラム	(株)ヒューマンアクティベーション	実施
c. 就労体験事業	地域の支援学校や中学生の就労・社会体験の受け入れを実施	京都市内中学校 若者サポートステーション など	継続
d. インターンシップ事業	海外や国内の学生を受け入れ、地域やユースホステルの中に活動の場を提供	CIEE、アイセック、立命館大学 大学コンソーシアム京都	継続
e. アースレンジャー	年少から中学生を対象に年間を通した年代別自然体験プログラム	(一財) ポジティブ・アース・ ネイチャーズスクール	継続
f. アースキッズ	年少から中学生を対象に宿泊を兼ねた単発の自然体験プログラム		継続
g. フレンドステイ - なかよし宿泊プラン -	小学生を対象に親元から離れユースホステルで過ごす宿泊体験プログラム		継続
h. ネイチャーキッズ	小学生を対象に年間を通した多世代交流プログラム	ネイチャーキッズ京都	継続

2. 遊ぶ（ユースホステルでの宿泊を楽しむ）事業の実施

事業・イベント名	内容・目的	運営主体・協力者	備考
a. エブリデイワン	宇多野ユースホステルと連携して365日、滞在者の満足度向上と宿泊者同士や宿泊者と地域の交流を促進	宇多野ユースホステル 地域住民	継続
b. 若者コンシェルジュデスク	地域市民による旅行者に対しての観光案内やお勧め情報の提供	大学生、京都学生ガイド協会 立命館大学インターンシップ	実施
c. 京都を楽しむヘルスツアー - ニューツーリズム創出事業	健康をテーマに京都を旅するプログラムの開発・実施	(一社)日本ダイエット協会 野菜ソムリエ、旅行会社	計画中

3. 国際協力・交流事業の実施

事業・イベント名	内容・目的	運営主体・協力者	備考
a. 青年研修事業	アフリカの青年に対して日本の基礎的な技術や知識を習得を目的にした研修事業をコーディネート	国際協力機構 (JICA)	継続
b. 国際交流事業	ドイツでの青少年育成を視察 フィリピンスタディツアーの協力	内閣府 (株)ヒューマンアクティベーション	実施
c. ISC 京都活動支援・協力	海外ゲストからのガイド依頼の取次ぎ や協会事業の協力・連携	ISC 京都	継続

4. 活動普及事業の実施

事業・イベント名	内容・目的	運営主体・協力者	備考
a. タビガラ。	学生が実際に行った旅の記録を発表する旅コンテストを3/24に実施	タビガラ。実行委員会	継続
b. みんな歩こうファミリー万歩	健康維持・増進を図ることを目的に7～15km位での月1回のイベント実施	万歩会、京都新聞社	継続

(2) 新しい事業の基盤作りや環境整備 【参加者目標：600名】

1. ユースホステルでの体験プログラム開発

事業・イベント名	内容・目的	運営主体・協力者	備考
a. 宇多野ユースホステルでの体験を通した宿泊誘致	京都ならではの京友禅や京菓子作り等の体験をあわせてパッケージ	京都在住の職人・店舗	検討中
b. 天橋立ユースホステルでの体験を通した宿泊誘致	地域団体との連携をしたイベント企画、農業体験などのプログラム 海を中心としたアウトドアでの活動	宮津市観光協会 宮津市エコツーリズム協議会 (株)モンベル 他	検討中
c. 教育旅行や団体・大学へのプログラム紹介	体験（旅やユースホステルでの活動）を通した人間基礎力を培う活動	京都光華女子大学 他	検討中

2. しみんツーリズム事業の創出

事業・イベント名	内容・目的	運営主体・協力者	備考
a. ツアーガイドイベントの実施	市民・年間約100コース実施	まいまい京都 京都百人一首かるた研究会 他	実施
b. しみんツーリズムプロジェクト立ち上げ	市民参画による地域活性ツーリズムのあり方を検討 ※環境省交付金交付	京都市景観・まちづくりセンター・京アジェンダ21 など	計画中

3. 自己診断・評価システムの開発

事業・イベント名	内容・目的	運営主体・協力者	備考
20代の旅メジャー	旅に出て、その楽しさを情報発信するのと同時に自己診断できる仕組み	倉敷紡績株式会社 (株)ヒューマンアクティベーション	計画中

4. 外部団体との更なる連携の構築

事業・イベント名	内容・目的	運営主体・協力者	備考
京都1周トレイルマラソン	ユースホステルでのイベント誘致	(株)アクトレップ	計画中

Ⅲ . 指定管理事業

(1) 京都市宇多野ユースホステル：京都市より指定管理者として受託

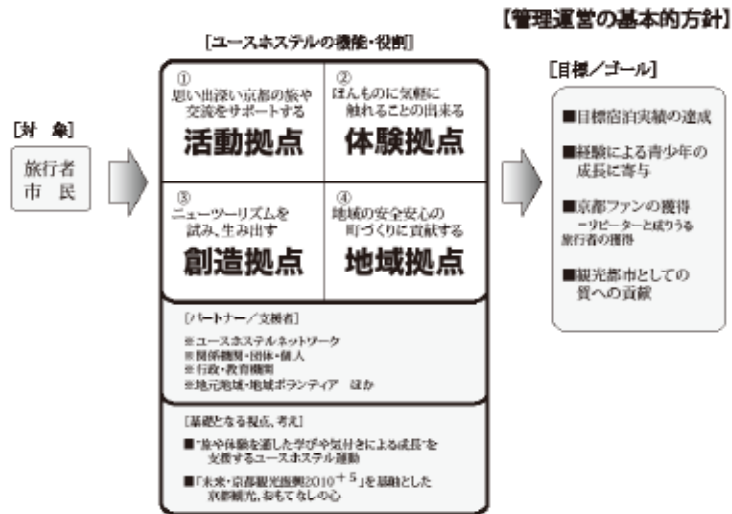
京都市では、「5000万人観光都市」の実現を受け、2010年から2014年までの新たな目標や道筋を明らかにするために「未来・京都観光振興計画2010+5」が策定されました。その中で、ユースホステルにおいても役割が期待されています。

そこで、世界的なネットワークを活かして、期待される4つの役割を積極的に取組みます。

特に外国人や青少年、ファミリーに対して多様な機会を提供していきます。そして、京都観光振興への貢献、京都ファンの獲得などによる利用者や宿泊者増を目指します。

【目標】

- 年間宿泊実績目標：36,000名（ベッド稼働率58.0%）
- 国際ユースホステル連盟の利用者満足度評価フレンドリー部門1位
- ※その他の部門も95%以上を目指す。



↑宇多野ユースホステル「前庭」風景



↑宇多野ユースホステル「ある日の風景」

1. 思い出深い京都の旅や交流をサポートする

“活動拠点”

京都における旅の拠点として、おもてなしの心を持って旅行者を迎え入れ、快適で楽しみ溢れる滞在を提供します。

a. 世界水準のユースホステル運営

- 1) 国際ユースホステル連盟が進めるユースホステルの品質管理マネジメントシステム“HI-Q”を導入し、運営の質の向上に活かします。
- 2) 国際ユースホステル連盟のグループ予約サイト (International Group Scheme) に参加し、新たな宿泊者獲得を目指します。
- 3) 世界各国のトップクラスの運営を行うユースホステルと姉妹ホステル締結や、告知やPR、イベントや文化紹介などの協力関係を、国際的なネットワークとして構築を図ります。
- 4) 国際ユースホステル連盟が推奨している環境負荷の少ない運営を目指し、環境マネジメントスタンダード・システム (KES) を取得します。

b. ニーズや満足度を把握する取組みの実施

- 1) 世代別のモニター宿泊を年に4回行い、宿泊者のニーズや満足度を把握します。
- 2) 施設運営やイベント、サービス面で利用者のニーズを把握するアンケートをフロントで配布、また寝室への設置を行います。
- 3) ユースホステルの魅力アップにつながるアイデア募集を宿泊時やホームページ上で行い、利用者がユースホステル運営に参加出来る機会を作ります。

c. エブリデイワン事業の継続実施

ユースホステルの滞在への期待や満足度を一層高めることを狙い、宿泊者同士、宿泊者と地域の交流促進を図る仕掛けとして、多様なイベントや行事を毎日実施します。

d. リピーター獲得に向けた取組み

- 1) グループ・団体宿泊者情報を毎月更新し、顧客情報の管理・活用を行います。
- 2) 利用後1ヵ月以内のサンキューレター発送、時期に応じたグリーティングカード発送を徹底します。
- 3) 総務部と連携し、年3回程度のイベント情報の発信を行い、再訪につなげる取組みを行います。
- 4) ユースホステルの社会的な価値を高めるため、取組みや宿泊状況などについて、毎月、メディアへの定期情報発信、外部業者への外注によるホームページの更新を行います。

e. 新たなサービスや特典の提供

- 1) 国際ユースホステル連盟の進める Membership Saving Program (ユースホステル会員は宿泊費10%割引制度) への参画、また閑散期の会員朝食無料といったサービス提供などによる、会員へのベネフィット強化を図ると共に、会員の入会促進を図ります。
- 2) バースデー割引、リーダー割引などの各種割引を試行的に実施します。
- 3) ユースホステルの競争力を高める取組みとして、アクセスサポート (交通費の負担) などを試験的に行います。



↑イベント「旅カフェ」の風景

2. ほんものに気軽に触れることが出来る“体験拠点”

ユースホステルの特徴は、経済的且つ快適に宿泊する場所ではなく、宿泊の中で起こる交流や体験といった出来事にあると言えます。

そこで、ほんものの京の食や文化、歴史などに気軽に触れることの出来る活動を宿泊と併せた形で提供していきます。

(取り組み例)

- 1) 百人一首をテーマにした街歩き
- 2) 京友禅体験、京菓子作り …など

3. ニューツーリズムを試み生み出す“創造拠点”

事業部や行政、外部の団体と連携し、学校交流や国際交流をテーマとした学びのある旅や伝統文化に深く関わる長期滞在型の旅、健康を意識した旅など、観光を目的としたの旅とは違った新しい切り口での京の旅を、ユースホステルから世界に向けて提案・発信します。

(取り組み例)

- 1) 京都を楽しむヘルスツアー
- 2) 海外インターンとの交流機会の提供 …など

4. 安全安心の町づくりに貢献する“地域拠点”

地域の様々な活動に対しての場所や機会の提供に止まらず、地域における町づくりや担い手の育成にも積極的に協力します。

a. 周辺地域からの期待やニーズの把握

地域で期待される役割、地域貢献等について、意見交換や提言の機会を設けます。

b. 地域へのタイムリーな情報発信

年3回情報発信を行い運営への理解と協力、施設活用の促進を図ります。

c. 災害を想定した各種準備

- 1) 大規模災害時の地域防災拠点として宇多野病院などの関係機関と連携します。
- 2) 災害時の避難場所として、地域の住民や市民の受入れができる環境を整えます。
- 3) 水や非常食の備蓄に関する準備を区役所と連携して検討していきます。

5. 滞在の満足度を高める食事、サービスの提供

a. 満足度の高い食事やサービスの提供

- 1) 食事は、ユースホステルならではの暖かいおもてなしをもって提供を行います。
- 2) 食堂経営は効率的な人員配置を行います。
- 3) アレルギーやベジタリアン等に対応したメニューや地産メニューの開発・提供を行います。
- 4) 利便性の高いサービスや京都ならではの物品販売を行います。

6. その他の取り組み

a. 持続可能な運営体制づくりへの調査

- 1) 今後予定されている利用料金制を想定した運営体制モデルの検討、試行をします。
- 2) 質の向上と効率的な運営スタイルの両立を模索します。
- 3) 長期宿泊割引や食事料金の複数設定を行い、その効果を調査し、次年度運営に活用します。



↑宇多野ユースホステルが取り上げられました

(2) 天橋立ユースホステル：宮津市より指定管理者として受託

天橋立ユースホステルがある府中エリアでは、観光資源だけでは誘客が難しい状況の中、埋もれている資源を活かした地域の魅力作り、競争力の強化が求められています。同様に地方にある多くのユースホステル運営でも魅力作り、競争力の強化が課題となっています。

天橋立ユースホステルでは地域の自然や文化、人を活かした体験の機会を事業部と共にコーディネートし、観光・宿泊だけでなく新たな滞在の価値を生み出す試みを行います。そして、こうした取組みにより地域観光振興の一翼を担うと共に、これからの持続可能なユースホステル運営モデルの確立を目指します。

【目標】

■ 地方型ユースホステルの成功モデルの確立

1. 地域資源や魅力を活用した体験宿泊プログラムの実施

事業部や外部団体が進めている宿泊型事業・イベントの現地での受入れ準備や調整を行い、宿泊の誘致に努め、地方型ユースホステルの一つの運営モデルとして成立させることを目指します。

(取り組み例)

- 1) 天橋立を中心に海を活用したプログラム
- 2) 休耕田を活用した農業体験 …など

2. 運営の質や魅力向上につながる取り組みの実施

- a. 世界水準のユースホステル運営
 - 1) 国際ユースホステル連盟が進めるユースホステルの品質管理マネジメントシステム“HI-Q”を導入し、日々の運営に活かします。
 - 2) 国際ユースホステル連盟のグループ予約サイト (International Group Scheme) に参加し、新たな宿泊者獲得を目指します。

b. 魅力的な食事提供と運営の効率化

- 1) 地元の食材を活かした季節を感じられる名物メニューを3つ以上開発し、提供します。
- 2) 独自で食事提供が困難な日でもサービス低下を招かないように、地元の業者やレストランなどと連携した提供方法を構築します。

c. 周辺施設や体験との割引提携

宿泊者にも喜ばれ、地域にも還元できる割引施設や体験を10件以上と提携します。

d. 利便性向上につながるサービス提供

荷物の送迎について検討し、試行します。

e. 施設の改修と雰囲気作り

BBQスペースの整備や食堂横テラスの改善に取り組みます。

3. 地域と一体的な情報発信・PR

- a. 地域や周辺施設の情報・宿泊案内の発信
- b. お勧め宿泊モデルプランの企画
旅の楽しみ方をイメージさせるモデルプランを5つ企画します。

4. 安定した施設運営のための体制構築と維持

- a. 業務の棚卸と整理
事業や営業、PRを実行するための体制作りと役割分担を行います。
- b. 効率的な運営体制づくりの工夫
季節変動の大きい利用状況に対応した、パートタイマーやアルバイトなどの活用も含む効率的な運営体制を構築します。

(3) 格致つどいの広場：「京都市子育て支援活動いきいきセンター」受託事業

近年、国や地方自治体では、子育て中の親が抱える不安や孤独感を和らげるための様々な施策が行われています。京都市では、その一環としてつどいの広場事業を進めており、今後もその数を増やす方向で進んでいます。

格致つどいの広場はオープン以来多くの方に利用していただき、利用者同士の交流や情報交換の場、また自己の学びや思いの実現の機会を提供してきました。こうした継続的な活動は、地域の理解と協力を得るまでに至っております。

そこで、格致つどいの広場が今後も地域のニーズに応えられる場となるよう、多様な機会の提供を継続的に行うことが出来る運営スタイルの検討を行います。

【目標】

- より望ましい運営スタイルへの環境整備
- 多様な場所と機会の提供

1. より望ましい運営スタイルの模索

a. 協働運営団体の調査、協議

- 1) 格致つどいの広場をより望ましい形で運営出来るように、体制の検討を行います。
- 2) 質の高い事業展開の構築に努めます。

2. 社会的課題に対する取り組み

a. 安心して滞在出来る場所と雰囲気作り

- 1) リピーターのグループ化が起こらないように気を配り、初めての方にも居心地が良く、輪の中で楽しめる支援を行います。

b. 学びや自己実現につながるイベントの実施

- 1) 子育てに活かせるセミナーを月1回以上実施します。
- 2) 自己実現に繋がる活動スペースを常時提供します。
- 3) 利用者持ち込み企画に対する支援と場の提供を行います。

Ⅲ．協会運営

(1) 総務部

法人移行後における制度や組織の再整備を行います。

1. 制度・組織の整備

a. 新法人移行後に発生する登記事務、規程の改廃

d. 内部統制システムの構築

- 1) 業務の効率性・有効性を高めるために、運営体制および規程の把握、現場とのすりあわせを行います。
- 2) 財務状況をすばやく、正確に把握するための仕組みづくりと報告書式を整えます。
- 3) 事業活動における法令や規範、契約に関する管理、進捗状況を確認する仕組みの整備を行います。

c. 国際的なシステムや取り組みへの対応

関係機関と現場との調整、事務手続きを行います。

(対象となるシステムや取り組み)

- 1) メンバーシップ・セイビング・プログラム
- 2) グループ予約システム
- 3) HI-Q



↑当協会の活動が新聞に取り上げられた

2. 認知度の向上に関する取り組みの整備

これまでも情報発信の重要性を認識してきましたが、具体的な取り組みには至っていません。その原因として、情報の取扱いについて、観念的概念的な整理にとどまっていた。そこで、まずこれまでの実績に基づいた整備を行います。

a. 発信情報と発信手順を整理を行います。

- 1) 発信情報の整理：
これまで実際に発信できた情報を集めます。
- 2) 発信手順の整理：
これまでの情報の発信にいたる経過の順序付けを行います。
- 3) 情報の送り先の整理：
これまでの送り先とその内容をまとめます。

b. 発信方法について検討します。

- 1) イベント情報以外に、イベント参加者や宿泊者、スタッフや大学ユースホステル部員の生の声などを情報源に加えます。
- 2) 業界紙・雑誌への掲載を目指した情報提供の強化を行います。
- 3) 関係機関、共催企業に対して4半期ごとに情報発信を行います。
- 4) メールマガジンの月2回程度の発信

3. その他

a. 環境マネジメントシステム (KES) 導入に向けた側面的に支援。

部門間調整や手続き業務などを行います。

b. 各種会員証の取扱いと告知

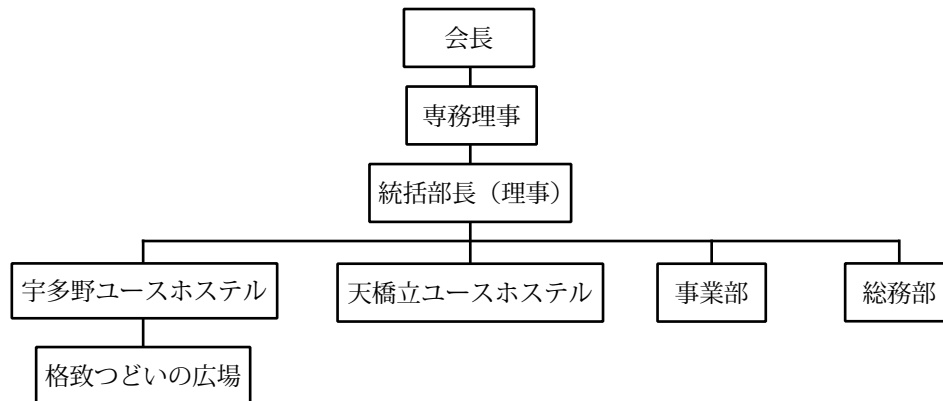
会員証、国際学生証・青年証の発行を行います。

c. 旅行業登録に向けた検討

第1種旅行業登録に向けた検討を行います。

2011年度 組織概要

運営体制について



部門	事業署名	理事 / 管理職	正規職員	非正規職員
業務執行理事	理事	2名		
事業部	事業部	1名	1名	1名
宇多野ユースホテル	宿泊・運営	1名	2名	17名
	食堂・物品販売			7名
	格致つどいの広場			6名
天橋立ユースホテル	天橋立	1名(理事兼務)	1名	1名
総務部	総務部	1名	1名	1名
合計		5名	5名	39名

組織概要 (2011年8月1日現在)

- 【団体名】 一般財団法人 京都ユースホテル協会
- 【代表者の役職氏名】 会長(代表理事) 堀場 厚
- 【財団設立】 1968年2月12日
※2011年8月1日(一般財団法人への移行登記)
- 【団体役職員数】 評議員 9名 理事 9名 監事 2名
職員 12名
- 【団体所在地】 京都市右京区太秦中山町29 宇多野ユースホテル内
- 【電話番号】 075-462-2312(代表)